

子ども教育学部

Faculty of Childhood Education

教授

近藤 毅 (コンドウ タケシ)



講義紹介

『なぜ算数・数学を学ぶのだろう』と思ったことはありませんか？ 数学は人類の知恵の結晶です。将来教える子どもたちが「あっ、そうか！」「わかった！」「できた！」が実感できるよう、「初等算数」「初等算数科教育法」では、数学のよさを体験的に学びながら、授業づくりの力量をつけていく理論と方法・技術を学びます。その他、「キャリア教育Ⅲ」、「キャリア教育Ⅳ」、「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」、「卒業研究」も担当しています。

大学の魅力

教員の多くが保育、教育現場の経験を有することから現場の実情を踏まえた理論と実践の往還を意図した学修を可能にする人的環境が充実しています。また、乳幼児とその保護者が集う子育て支援施設「いーぐる」が学内にあります。日常的に学生が子どもとふれあい、交流し学ぶ環境が校内にあることは全国の大学でも希少です。また、附属保育園をはじめ近隣の小学校との連携により学生の学びの環境は充実しています。卒業後も、現職教員や学生との実践交流や研究のネットワーク拠点「ひろしま人間教育研究センター」があなたの力になります。

受験生へのメッセージ

算数は数学の本質の扉を開ける鍵の宝庫です。その鍵は他の分野の扉さえ開ける鍵にもなり得ます。子どもたちが数学的な見方・考え方、アイデアを素晴らしいと実感し、「わかった。できた」の達成感や成長実感と、一人一人の可能性の扉を開ける鍵を獲得していく算数科授業を、いっしょに探究してゆきませんか。私も、これまでの教育行政経験や教員経験を生かして、教職の道を志す皆さんの夢の実現に向けてしっかりとサポートしたいと思います。

近藤 毅

こんどう たけし

近藤 毅 Kondo Takeshi

子ども教育学部 子ども教育学科 教授
キャリアサポートセンター長

学歴・学位

福岡教育大学教育学部特別教員養成課程数学科 卒業

兵庫教育大学大学院学校教育研究科学校教育専攻教育方法コース 修士課程 修了 教育学修士

主要職歴

昭和 55 年 4 月～昭和 59 年 3 月	福岡県公立中学校 教諭
昭和 59 年 4 月～昭和 62 年 3 月	広島県旧能美町公立中学校 教諭
昭和 62 年 4 月～平成元年 3 月	(兵庫教育大学大学院 修士課程)
平成元年 4 月～平成 6 年 3 月	広島県旧能美町公立中学校 教諭
平成 6 年 4 月～平成 8 年 3 月	廿日市市公立中学校 教諭
平成 8 年 4 月～平成 11 年 3 月	広島県教育委員会事務局教育部指導課 指導主事
平成 11 年 4 月～平成 15 年 3 月	廿日市市公立中学校 教諭
平成 14 年 4 月～平成 15 年 3 月	広島大学教育学部 非常勤講師「教育課程・教育方法論」
平成 15 年 4 月～平成 18 年 3 月	廿日市市教育委員会 管理主事 教育指導課長
平成 18 年 4 月～平成 21 年 3 月	広島県立教育センター 主任指導主事
平成 21 年 4 月～平成 27 年 3 月	安芸高田市公立中学校 教頭 大竹市公立中学校 教頭 廿日市市公立中学校 教頭
平成 27 年 4 月～平成 30 年 3 月	安芸太田町公立中学校 校長
平成 30 年 4 月～令和 2 年 3 月	広島大学大学院教育学研究科 客員教授 「教育課程論」「教育方法・技術論」
令和 2 年 10 月～令和 3 年 3 月	広島大学教育学部 客員教授 「教育方法・技術論」
平成 31 年 4 月～令和 6 年 3 月	広島都市学園大学 子ども教育学部 准教授
令和 6 年 4 月～現在に至る	広島都市学園大学 子ども教育学部 教授

専門分野

算数・数学教育学、教育方法学、学級経営論、学習集団論

主な担当科目

初等算数、初等算数科教育法、キャリア教育Ⅲ、キャリア教育Ⅳ、特別研究Ⅱ、特別研究Ⅰ、卒業研究

研究テーマ

算数・数学科授業におけるコミュニケーションと教材・教具の在り方、子どもの誤答分析に基づく算数・数学科授業改善

ひとこと

子どもたちが数学的な見方・考え方、アイデアを素晴らしいと実感し、「わかった。できた」の達成感や成長実感を得得できる算数科授業を探究してゆきます。

その他（所属学会・団体）

日本数学教育学会、日本教育方法学会、現代学習集団授業研究会

研究活動

著書

- 1) 新・教授学のすすめ第4巻「呼びかける指導案を構想する」（吉本均編）（共）〔吉本均 他6名〕明治図書 1989年7月
- 2) 新・教授学のすすめ第5巻「授業展開のタクトをとる」（吉本均編）（共）〔吉本均 他6名〕明治図書 1989年7月
- 3) 授業と学習集団 No.3「『呼びかける』指導案で授業を変える」（吉本均編）（共）〔吉本均 他26名〕明治図書 1992年7月
- 4) 中学校数学科教育実践講座 CRECER 第13巻（共）〔正田實 他25名〕ニチブン 1994年10月
- 5) 学習集団研究の現在 Vol.2「学習集団づくりが描く『学びの地図』」（深澤広明・吉田成章編）（共）〔深澤広明 他15名〕溪水社 2018年3月

学術論文

- 1) 立方体の切断に関する生徒との実態と課題学習の学習モデル（単）『学校図書 教科研究 数学』No.148 pp.10-13 1994年2月
- 2) 多様な考えを生かす数学科授業(単)『内外教育』第4709号 p.23 1996年3月
- 3) 中学校数学科における論理的な思考力を育てる図形指導の工夫～根拠を明らかにする活動を通して～（共）〔近藤毅 奥本実〕広島県立教育センター研究報告書 pp.41-48 2009年3月
- 4) 子どもの誤答が示す算数科学習指導の改善の視点－外延量の測定におけるスキーマに焦点を当てて－（単）広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第5巻第2号 pp.35-48 2018年2月
- 5) 算数科学習指導における分数の典型的な誤答に関する一考察－量分数の典型的な誤答の発生とその動的態様を中心に－（単）広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第6巻第1号 pp.29-44 2019年9月
- 6) 小学校教員養成における算数科授業記録の読みに関する一考察－分数の誤答をめぐる読みのケースにおいて－（単）広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第6巻第2号 pp.37-51 2020年3月
- 7) 授業で数学的な見方・考え方が働く教材研究の在り方－歌唱教材「背くらべ」の数理的考察を通して－（単）広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第7巻第1号 pp.11-25 2020年9月

- 8) 図形の高さの概念形成における「高さ比べ」の意義－「塵劫記」及び算数科教科書の「高さ」の比較考察から－
（単）広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第8巻第1号 pp.13-25 2021年9月
- 9) かぐや姫が誕生した竹の教科等横断的な視点からの数理的考察－小・中学校国語教科書「竹取物語」を手掛かりに－
（単）広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第9巻第1号 pp.3-12 2022年9月
- 10) 深い学びが実現する 5W1H 思考を活用した学習課題づくりの方法－知識構成型ジグソー法による「分数」指導を事例として－
（単）広島都市学園大学子ども教育学部研究紀要 第10巻第1号 pp.13-24 2023年9月

その他（学会発表等）

- 1) 「集団思考過程における合同な図形の認識に関する一考察」第42回広島県算数・数学教育研究大会 1990年
 - 2) 日本教育方法学会第55回大会・口頭発表（個人）「子どもの誤答が示す算数科学習指導の改善の視点－外延量の測定におけるスキーマと課題づくり－」（於 東海学園大学）2019年9月
-